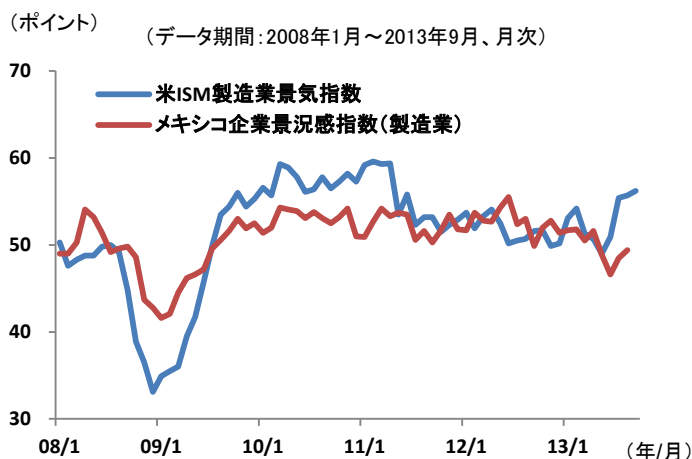




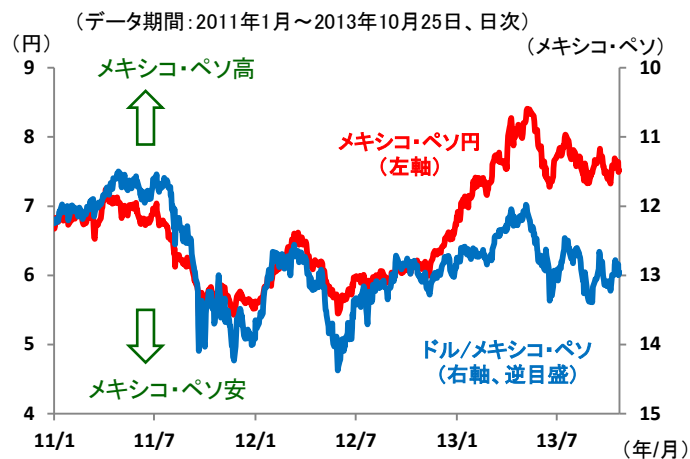
10月25日発表のメキシコの政策金利の変更について

- メキシコ中央銀行は、10月25日の金融政策決定会合において、政策金利である翌日物貸出レートを0.25%引き下げ3.5%としました。市場予想の大半は「利下げ」予想でした。次の金融政策決定会合は12月7日の予定です。
- メキシコ中央銀行は、今回の利下げの理由として以下の要因をあげています。
 - ・最近の世界経済は弱い状況が続いており、特に、新興国市場は予想以上に成長率が鈍化していること
 - ・メキシコの輸出の約8割を占める米国の国内需要が力強さに欠けていること。また、米国の量的緩和(QE3)縮小は、直近の財政問題等で当面は遠ざかりつつあり、独自の金融緩和政策を実施しやすいこと
 - ・9月中旬の台風による被害と経済の構造改革の遅れなどから景気対策が必要であること
 - ・インフレについては、歴史的低水準で落ち着いていること
 - ・メキシコの金利や通貨市場は低ボラティリティで推移しソブリニリスク・プレミアムは安定していること
- そして、メキシコのファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は良好で安定しており、今回の利下げが景気後退への予防的措置であることや政府の構造改革をサポートするものであること、及び現在のインフレ水準が中期的なインフレターゲットを満たすものであることについて言及しています。

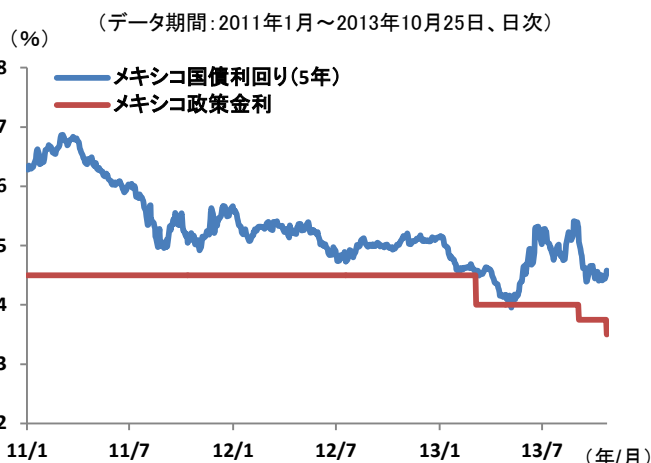
【図表1: 米ISM製造業景況指数とメキシコ企業景況感指数(製造業)の推移】



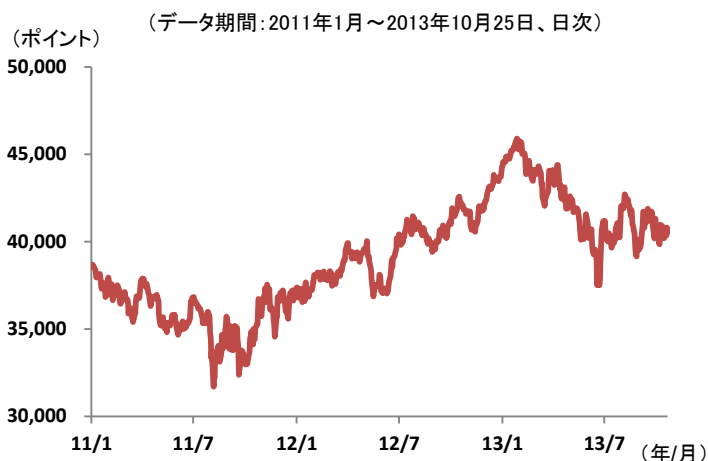
【図表3: メキシコペソ円、米ドル/メキシコペソの為替レートの推移】



【図表2: メキシコ政策金利と国債利回り(5年)の推移】



【図表4: メキシコ株式(ボルサ指数(IPC®))の推移】



出所: 図表1～4は、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 (審査確認番号H25-TB69)